

第19回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。

前回のスゴイ人、オートショップクマモトの隈元さんにご紹介いただいたこの方は、「投谷八幡宮の宮司であり、曾於市のイベントを支える音響さんでもある方」とのこと。インタビュアーは、三浦恭子でお届けします。

【今回のスゴイ人】

投谷八幡宮 宮司
S o o 音協代表
柏木 勝弘 さん



今

今回お伺いしたのは、大隅町にある投谷八幡宮。そこで、こちらの宮司であり、またS o o音協の代表でもある柏木勝弘さんにお話を伺いました。

32歳の時、音響会社を立ち上げ、地元である大隅町に帰ってきた柏木さん。曾於市内のお祭りやイベントはもちろん、宮崎は延岡まで呼ばれることも。「県境だから鹿児島にも宮崎にも呼んでもらえるんです。ありがたいですよ」と笑顔で話します。仕事をしていく上では、つながりが一番大事とのこと。予算がないと言われても、その額でできる最大限をする。「来年はもっと良いイベントにしたい」と思うお客さんもいて、長く付き合っていく中で信頼関係ができる。そうやって今につながってきました。

「最後に『ありがとうございます』って言ってもらえる仕事って嬉しいですよ。それは、宮司も一緒です」

18年前、先代の宮司に跡取りがいなかったことからお願いされ、免許を取りに行くことに。その後、神職につきました。宮司になるまでは投谷八幡宮には来たこともありませんでしたが、先祖が同じ系列の神社に携わっていたことなど、縁があったことをあとで知ったそうです。宮司になって感じたのは、「自分は人と神様の仲を取り持つ者」ということ。相手があつて自分があるという意識はどちらの仕事にも共通しています。

「来場者」と「主催者・出演者」、「祈る人」と「神様」。「つながり」を仕事にする柏木さんの思いやりあふれるお話は、とても勉強になりました。



協力隊の活動報告

今年の5月から始めた「協力隊と！美味しさ追求体験」。美味しい焼酎が飲みたいから、サツマイモの苗を植えることから始めるという、かなりの長期企画です。今回は、大隅町のサツマイモ農家 竹下一成さんに全面協力いただきまして『曾於市相愛』という焼酎をつくるべく、6月に苗を植えました。そして、先日、無事芋掘りも開催！平日のお昼だったのですが、鹿児島市内からきてくれた方もいて、大人だらけの芋掘り体験となりました。手掘りだけでなく、自動芋掘り機にも乗せてもらい、初体験だらけでした。翌日には酒造会社に行き、仕込み体験。掘った芋がつぶされ、二次発酵の甕に入っていくのを見ると思わず「美味しくなれ」と言ってしまうました。

この焼酎、来年の2月頃にはできるそう。試飲会が楽しみです！販売もできたらと画策中ですので、皆さんもお楽しみに！



2017年9月29日(金)

三浦恭子